



鳥取県立鳥取盲学校

学校だより

第 6 号

校長 岸田 裕子

令和6年3月 8日



## 児童生徒の様子

## 高等部普通科

## ～学びを深める～

### 【箏の学習】

1月～2月にかけて、はばたき学級の生徒は箏の演奏「いつも何度でも」に挑戦しました。特別非常勤講師の先生に演奏時の姿勢や構え方、奏法等を教えていただき、練習を重ねてきました。昨年度取り組んだ曲と比べて難易度が高く、初めは苦戦する様子も見られましたが、繰り返し練習することで弾ける部分が増えてきました。校内音楽発表会では、練習の成果を発揮することができました。



【箏の音色の響きを大切にした演奏】

### 【職場見学】

普1生徒は、進路学習の一環として、今後の進路選択につなげることを目的とした職場見学を行いました。見学先では、会社の概要説明を聞いたり、実際に扱っているソフトやテキストを見ながら体験したりしました。体験を通して業務内容を知ることができ、自分の進路実現に向けて考える貴重な時間でした。



【マニュアルを見ながら家を設計】

## 小学部 ～季節を感じる～

【もちつき】 日本の伝統行事、もちつきを初体験しました。蒸したもち米を試食し、熱さともち米のおいしさにビックリしました。杵の重さに苦戦しながらも、先生と一緒に粒がなくなるまでつきました。自分でついたもちの味は格別のように、3つも食べました。



【もちをついて、丸めて、食べたよ】

### 【雪遊び】

1月末に雪遊びをしました。養訓山でソリ滑りと中庭で雪だるま作りをしました。ソリのスピード感が楽しくて、何度も繰り返し滑りました。雪だるまは雪玉を転がして頭をつくり、目や鼻を付け、自分の背より大きく作りました。活動を通して日本の季節や食文化を感じました。



【やっとできた雪遊び、ソリのスピード感が楽しい！】



## 寄宿舎 ～皆で協力！！～

### 【門松作り】



1年間の幸せと健康を願って、門松作りをしました。葉ボタンは、舎で採れた種から育てたものです。一人一人ができるところを担当し、バランスも考えながら、よい年が迎えられるよう、松や飾りを生けました。

【寄宿舎（青雲寮）玄関前】



### 【クリスマス運動会】

今年のクリスマス会は趣向を凝らし、チーム対抗でミニ運動会を開きました。チームで協力し、応援し合う姿が見られました。準備の飾りつけや企画に舎生がアイデアを盛り込み、綱引きやスクーターボードの競技のほか、盲生と聾生がそれぞれ学校祭で演技したエイサーとソーランを披露して、楽しく時間を過ごすことができました。



【進行役によるルール説明】



【チーム対抗の綱引き】

## 給食週間

1月24日から30日の全国学校給食週間に合わせ、様々な企画を実施しました。

実際に給食センターで使われている調理器具に触れたり、学校給食に関するクイズを出題したりすることで、楽しく充実した時間を過ごしている様子でした。また、鳥取盲学校恒例の「給食川柳」には、児童生徒9名と教職員38名が応募し、厳選なる投票により各賞が選ばれました。

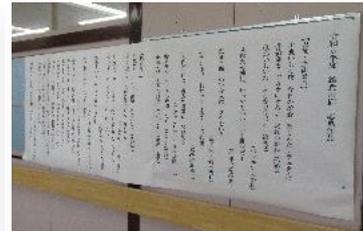


【調理器具に触れている様子】

【大賞】 飯の供 友と会話と クイズかな

【職員賞】 給食の 献立を見て 学ぶ旬

【校長賞】 美味しいな 貴方の言葉に 笑顔出る



【廊下に張り出された川柳】

令和5年度は「深める」をキーワードに鳥盲教育に取り組んでまいりました。保護者、関係機関、地域のみなさまにご協力いただき、児童生徒、教職員等とのつながりを深めながら様々な活動を行い、学びを深めていくことができました。感謝申し上げます。本日の卒業式では3名が卒業していきます。鳥盲での学びを、自身の可能性を次のステージでも広げていってほしいと願っています。



教頭 田中 ますみ